平成25年4月10日

各　　位

ＳＥホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長　速　水　浩　二
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９４７８）
問い合わせ先
執行役員経営企画部部長　松　村　真　一
ＴＥＬ　０３-５３６２-３７００

子会社における特別損失の計上に関するお知らせ

当社子会社である株式会社システム・テクノロジー・アイは、同社平成25年３月期（平成24年４月１日～平成25年３月31日）において、のれんの減損および固定資産減損・除却に伴う特別損失を計上することになりましたので、下記参考資料のとおりお知らせいたします。

なお、この計上を含めた当社の連結業績予想につきましては、現在精査中であるため、適時開示の必要性が生じた際に、あらためてお知らせいたします。

〈添付資料：株式会社システム・テクノロジー・アイ開示資料「のれんの減損および固定資産減損・除却による特別損失の計上に関するお知らせ」〉

以上

Press Release
プレスリリース

System Technology i
Real E-Learning Company

平成 25 年4月 10 日

各　位

株式会社システム･テクノロジー･アイ
代表取締役社長　松　岡　秀　紀
(証券コード:2345)東証マザーズ
東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号
(お問い合わせ先)常務執行役員管理本部長　内山　富士子
電話　03－5148－0400

のれんの減損および固定資産減損・除却による
特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月期（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）におきまして、下記のとおり、のれんの減損および固定資産減損・除却に伴う特別損失を計上しますのでお知らせいたします。

記

１．概要および理由

当社が平成 19 年７月１日付けで株式会社 SE プラスを完全子会社化したことにより、連結上発生するのれんについて、20 年間の定額法を採用し償却を行ってきましたが、震災影響に端を発した研修関連需要等の落ち込みの影響もあり平成 23 年３月期及び平成 24 年３月期においては､のれんの償却費を負担できず、営業損失を計上いたしました｡平成 24 年５月には､子会社と事業拠点を統一し大幅な固定費の削減を行い、新規事業であるペーパーレスソリューション事業に注力し事業展開を図って参りました。事業の収益性は回復基調にあるものの、平成 25 年３月期における業績が連結、個別とも当初業績予想に対して大きく乖離する見込みとなったため､平成 25 年３月 31 日時点の残存部分につき減損を実施することといたしました。また事業セグメント別に固定資産の減損を行った結果、期末に廃棄した固定資産の除却と併せて固定資産の減損を特別損失として計上いたします。

のれんの減損損失　　：466 百万円(連結)
固定資産減損損失・除却損失：7 百万円（連結・個別）

２．損益に与える影響および今後の見通し

上記減損および除却の金額については、平成 25 年３月期の決算において、特別損失として計上予定です。平成 25 年３月期決算の業績につきましては現在集計中であり、判明次第速やかに開示いたします。

以上